



社会就労センター〔セルプ〕

石川セルプニュース



(チャンス) 障害者に働く機会を!
(チャレンジ) 挑戦する勇気を!
(チェンジ) よりよい改善を!

NO. 12

発行 石川県社会就労センター協議会
編集 広報委員会
発行責任者 表 修司
〒920-8557
金沢市本多町3丁目1番10号
(石川県社会福祉協議会内)
TEL (076) 224-1212



暑い夏の、梅干し作業

施設紹介

みのり園

七尾市国分町セ部 18 番地

創立以来、園歌に歌う「みどりの光輝く、小鳥さえずる国分が丘」に集いて15年が経過しようとしています。ここ国分町セ部18番地は、毎年初夏にはほととぎすが飛来し、美しい鳴き声を聞かせてくれます。隣りに新名所『のと蘭ノ国』ができて注目の土地になりつつあります。いい文化の創造をみのり園から発進したいが、私たちの心意気です。

さて、園の運営の基本目標は、「みのり園の主人は園生です」の基本に基づいて、一人一人の立場に立った処遇とサービスに努める。基本的人権を守り、豊かな人間性と社会性を培い、生活者として自立し、地域社会に貢献する人材の育成とされています。

残念ながら就労は、この2年間一人もないので、

社会に人材を送り出してはいません。しかし、園は地域社会からずいぶん支援を受けながら、地域社会に貢献していると思っています。

一例を作業でいいますと、納豆生産は安くおいしい良質の蛋白質を健康食品として、地域の多くの方々に食していただいています。地域社会に貢献しようという私たちの意識の高揚が、労働意欲につながる図式を描いています。今年度軍手製造を始め、地域の人たちに愛用されるようになりました。

他に、ハーネス、箱折り、電器関係等の下請け、ウエスづくり、アルミ缶回収、漬物づくり、農場経営で工賃アップに取り組んでいます。

今年度、園生の自治会を組織することになり、軌道に乗せようとしています。挨拶を含めた仲間同志の声かけ運動、健康増進運動、貯蓄運動を活動の柱に、自主的に動きつつあります。

園歌の一節「自分の道を自分で歩く」夢を育てていきます。ご支援今後ともお願いします。

～ 潮 点 ～

利用者のニーズに応える

障害関係の施設もいよいよ変革の時を迎えようとしている。平成15年度の「措置制度」から「支援費支給制度」への転換。言葉の上では理解できるが、実際にどのような状況になるのか、先行不透明である。お役人は、ことある毎に「公費の後退はない。」と明言されているが、世の中そんなに甘いものでもあるまい。規制緩和により法人の自由裁量的経営が認められるようになると、それをうまく活用できる施設もあろうが、大部分の中小規模施設では、経営の難しさが露呈するのではないだろうか。できるだけ早い時期に新制度の全容を明らかにしてほしいものである。

ところで、平成15年度の制度転換に合わせて、サービスの質についての議論が盛んになってきた。「サービス」と言うからには、相手の望むことをできるだけその望みに近い形で提供しなければならない。知的障害者の場合、本人が意思表示できない場合も多々あろうから、親の希望ということが大きな意味を持っている。「将来の自立」や「施

うめの木学園 入所施設 施設長 関戸 正人

設で一生懸命働いて高い工賃をもらう」ことを望まれる親もいる。しかし、「工賃なんかもらえなくてもいい。楽しく穏やかな生活を送らせてもらえればそれで十分。」という重度者の親の切実な願いがもう一方にある。そして、それら両極の意見の中間に、さまざまな望み、親の数だけ（障害者の数だけ）ニーズが存在している。我々は、授産施設の体裁を保ったままで、一体どれほどのニーズに対応していけるのだろうか。

今、セルフ協では、商品開発や販路拡大に関する調査研究が活発に行われている。これは、我々授産施設の果たすべき役割の根幹をなす部分であるから当然とも言える。しかし、一方、重度者の生活支援という点についてはどうか。このあたりのニーズへの対応も、セルフ協で大きな柱の一つとして取り組むべきではないか、と考えるののだがいかがなものか。

ともあれ、我が施設の将来像に、あれやこれやと頭を悩ませている今日この頃である。

頑 張 っ て ま す !! (利用者の声)

ひろびろ作業所

蚊爪 剛

私が今している仕事は、販売事業です。ちょっと難しい言葉ですが夏と冬に通販カタログを仲間が中心になって企画・商品の選定・仕入れ・仕分け・お得意様への営業をしたりして年間の作業の大きな柱になっています。目玉商品としては、夏はそうめん、冬はカレンダーが中心となっています。そのほか定期的に病院などに出張販売に行ったり、もちろん各種イベントにも色々出るきかいもあり、忙しい時期には同じ日に何か所も重なることもあります。



いろんな場所に出てたくさんの人と出会い、「いらっしゃいませ〇〇いりませんか」「ありがとうございました」その声かけがお客様に接する大切な基本の一つだと考えております。

なかなか商品が思うように売れず大変なことも少なくありませんが、お客様の「頑張って下さい。〇〇おいしかったよ」そんな声に励まされながら頑張っています。

お客様方がほしい商品、買いたい商品はなにか、簡単なことではありませんが、いい物を提供するそのことを忘れずに頑張っていきたいと思っております。

今 浜 苑

田方美恵子

今浜苑には3つの作業班があります。テラタニ班（内職班）、農園班、室内班です。室内班には、ポリシート広げ、空缶潰し、体育館清掃、牛乳パック、プリントTシャツなどがあります。ポリシート広げはナイロンのシートを広げ50枚のたばにして7000枚の袋にして出荷します。空缶潰しは押水町羽咋方面などから回収し潰すものです。体育館清掃は押水町内の体育館トイレの掃除と周辺のゴミひろいです。牛乳パックは、パックを回収し広げるものです。プリントTシャツはTシャツをプリントし、たたんで袋に入れます。私は牛乳パックをひろげるのがへたです。でもへたなりに頑張っています。ゴミひろいも暑い時は大変です。でも仕事ばかりではありません。クラブ活動も居室活動もあります。それから部屋の担当と行くふれあいとはとくに楽しみです。自主帰省もできるようになったのでうれしいです。これからは他の作業班にも入ってみたいと思っています。



のびやか賞 論文選考結果 平成12年度

○応募総数 8施設 11論文

○選考結果

サービス支援部門

- ◇「のびやか賞」・・・該当なし
- ◇「のびやか奨励賞」(5論文)
 - ・セルブなんなん 河南佐栄子
テーマ『会員各々にあった取組み
〔入浴サービスを通じての取組み〕』
 - ・セルブはくさん 酒井 浩行
テーマ『会社シミュレーションの反省から』
 - ・若草福祉作業所分場コスモス 西川 英臣
テーマ『重度知的障害者との
ラポートはどうつけるか』
 - ・青山彩光苑ワークセンター田鶴浜 北野 雄一
テーマ『施設交換実習を通じた援助
一般就労を目指す利用者に対して』
 - ・松の実園 平野 雅人
テーマ『友煎ホーム 開設から2年』

◇「のびやか努力賞」(1論文)

- ・やちぐさ作業所 甲斐 美子
テーマ『嗜好調査』

セルブ事業振興部門

- ◇「のびやか賞」・・・該当なし
- ◇「のびやか奨励賞」(4論文)
 - ・やちぐさ作業所 柴田 紀子
テーマ『あわてて原価を見つめて・・・
反省のポーズをとる』
 - ・若草福祉作業所 針田晃次 湯浅恭子 城田泰造
テーマ『作業能力向上への取組
〔らっきょう作業のマニュアル化をとおして〕』
 - ・みのり園 伊豆 茂正
テーマ『納豆の10年』
 - ・青山彩光苑ワークセンター田鶴浜 斉藤志加子
テーマ『品質意識の向上を目指して
一おしぼり作業をとおして一』
- ◇「のびやか努力賞」(1論文)
 - ・セルブなんなん 橋爪 隆明
テーマ

『ベビー洗い場作業ができる会員をひとり育成して三人として職員が入らなくてもいい体制にする』

「のびやか賞」の選考を終えて

石川県手をつなぐ育成会

事務局長 寺島 笑子

毎年、同じ人が選考委員ということは偏った選評になりかねないので今年こそ委員を辞退しようと強く決意し、早めに係の方をお願いしていたところ再び引き受けざるを得ないことになった。引き受けた以上は論文を提出された方々の気持になって選考しなければということで論文を読ませていただいた。

2～3の論文について率直な感想を述べてみたい。多少曲折な意見も出ると思うが御寛容願います。

○利用者をして会員又はスタッフと表現していて一応想像はつくが、論文として記述する場合、やはり先ず書き出しは施設の説明から入ってほしい。その点、「重度知的障害者とのラポートはどうつけるか」は、施設の説明によって背景がはっきりしていてA君の存在が、浮彫りとなる。それにしても常にA君と対している職員の大変さを改めて知らされた。

○「らっきょう作業のマニュアル化をとおして」については往々にして作業に当たり従来は目分量、手加減などに頼ることが多かった。この作業実施に当たり先ず希望者を集め、個々に当たって絞り込みをしていった点、やはり製品として販売されるので当然と思った。なお、おしぼり作業においても勘から標準化に取り組んだことは共通して一歩前進につながり不良品が更に削減されるのではないかと思った。

○「会社シミュレーションの反省から」については今後見直し改善を行う方向を考えているので今後に期待する。

※残念ながら、今年も「のびやか賞」は出なかった。

のびやか奨励賞論文の紹介(要約文)**会社シミュレーションの反省から**

セルブはくさん 酒井 浩行

セルブはくさんでは6年前から会社シミュレーションという作業科体制を取り入れてきました。その後は、売上げ・工賃ともに確実に伸ばすことができましたが、次第にメンバー、スタッフともにそれのみに力を入れて行くことになり本来に必要な自立のための支援を提供できず、作業を行い工賃を獲得するだけの場になってしまいました。

今後は、これまでの反省を生かし就労や地域生活を意識した支援を提供できるよう体制そのものを見直さなければなりません。各関係機関や制度を有効に活用し一般就労につながるように、又これまで弱かった生活自立支援を強化し地域で生活できる力を身に付けることができたときが会社シミュレーションの成功と思っています。

作業能力向上への取組

(らっきょう作業のマニュアル化をとおして)

若草福祉作業所 針田晃次 湯浅恭子
城田泰造

施設はサービスの向上を目指し色々な試行を行っているが、作業の面で私達は利用者に適切な支援がなされているだろうか、反省させられる事もある。

知的障害者は抽象性が低く、言葉の説明だけでは分かりにくい。そのため、視覚にとらえて理解する事や、また、フィードバックの点を検討し、らっきょう作業のマニュアル化を考えた。分かりやすいマニュアルにするために、私達は利用者との話し合いを重ね、個々人の適性に応じるよう考慮した。そしてこのマニュアルを基に、利用者の理解を深め、作業を円滑に進めるための取組をおこなった。

平成12年度 石川県セルプ協・福井県セルプ協合同セミナー (平成13年1月23日・24日 加賀観光ホテルにて)

研修委員会部長 杉森 久英

今回4回目となるこのセミナーは石川、福井の両県の職員と利用者が年に一度お互いの仕事での情報交換や施設の現状、問題点また施設に対する要望などを話し合う場となっています。

今年度の特徴は、やはり社会福祉基礎構造改革にともなう施設運営上の課題点、利用者へのサービスの整備と向上、職員の意識改革等の点、そして利用者分科会では職員の対応に格差がある、工賃をもっと上げてほしいなど日頃感じていることを話し合いました。

初の試みとして2日目に施設見学を取り入れました。見学先は『セルプなんなん』と『幸徳園』でそれぞれ40名ぐらいの参加者が見学に訪れました。これまでのテーブルを囲んでの研修ばかりではなく、実際に仕事の現場を見て触れていただきさらに参考になったことと思います。

利用者の方々も『出張』体験はとても楽しいとこのことで来年度も是非ということでした。

第4分科会(身障)の様子及び報告

ひろびろ作業所 安田 利勝

今回より、身障と知的の二つに分かれて分科会が行われるという事で、集まった利用者は、最初からテーマを「職員サービスの平等にしてほしい!」と、手厳しい内容から始まった。

利用者から見る職員(指導員)は、障害の差や、重さによって対応があまりにも違いすぎるとの意見に、他の利用者達も賛否両論、大いに議論される。最終的に各施設の職員は、適材適所で働いていると思うが、利用者の目から見る意見はとても

重要だと思うので、できる限り職員もその意見に耳を傾けるということでもとまった。その次は、仕事時間・給料・生活環境・食事・休日の過ごし方など活発な意見を交わしていきました。

最後に、対人関係(トラブル処理)についての話になると、利用者同士ではその後のことを考えて職員に中に入ってもらうという意見が多く、それ以外は、趣味などでストレスを発散するという意見も多く、利用者の方は、自己コントロールでうまく対処していると思えました。

第4分科会「施設利用の意見」

一知的障害一

けやき野苑 中山 肇

当分科会は施設利用者9名(石川5名、福井4名)と施設職員5名の14名で行われました。

「施設での生活」「最近思う事」等を話題にフリートークの形で進行され、その中でも以下の3つの事項について多くの発言がありました。

- ・「工賃」…自分の努力で評価を高めて工賃アップを目指している等、殆んどの方が工賃のアップを望んでいました。
- ・「一般就労」…高年齢化や、同年代の人が一般就労した事等を理由に、施設を出て一般就労したいとの発言が数件ありました。
- ・「分科会の感想」…他県、他施設の人達と話す機会はとても少なく、今回はとても楽しく参加できたと言う意見が出て参加者の殆んどが、又皆さんと会いたい。又、参加したいと発言されました。終始なごやかな雰囲気で行われた分科会でした。

パッケージ・ラッピング研修会

調査研究委員会部長 荒栄 志織

障害者施設商品開発等推進事業の一環として下記の研修会を開催致しました。

主旨：施設商品の包装(パッケージ・ラッピング)を改良することにより、商品のイメージアップを図る

日時：平成13年1月10日(水) 9:30~16:30

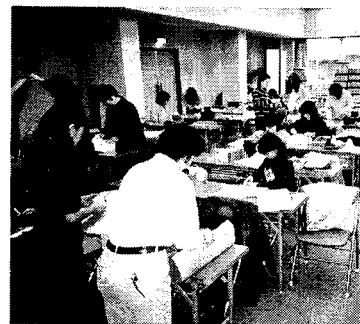
場所：石川県社会福祉会館 4階中ホール

講師：ラッピング研修 アトランデザイナー

石田 陽子氏

パッケージ研修 (株)エヌプランニング代表取締役

長田 健一氏



午前のラッピング研修においては、様々なラッピング資材を使い各施設の商品をラッピングアレンジしました。その他ラッピングの基本として3種類の箱を使用しリボンの結び方等の研修をしました。

午後のパッケージ研修においては、CIについてのお話等、講義中心の研修会となりました。

この商品開発改良研修会については、みなさんの役に立つ研修会を行いたいと考えております。

ご意見等がありましたら調査研究委員会まで……

商品販売拡大研修事業 ～販売ルート確保のための研修会～

研修部長 杉森 久英

2月6日、県社会福祉会館において(株)銀座セキネニュースカイプラザ店長 小林洋子氏をお迎えし上記の研修会が行われました。参加者は18名で各施設において販売や営業活動に携わっている方がおもに研修を受けました。

第1回目は販売にあたっての接客マナーの点で日頃、疑問に感じていることの質疑応答をまじえ的確にアドバイスをいただきました。またお客さまに対してきめ細かなサービスもとても重要であるということで、たとえばお釣銭は新券でお返しし札の方向もそろえる、またおじぎはその場に応じて15度、30度、45度があることなどサービスの真髄をかいま見たような気がしました。

セルフフェアにおいて自分の施設の商品だけの知識ではなく、なるべく他施設の商品も説明できて販売していく姿勢が大事だということでした。

そのほかに声の出し方や身だしなみ、電話の応対など、我々福祉に携わる者が今後の活動において習得していかなければいけない事が多くありました。



商品・作業改良研修会実施一覧

3月1日現在

施設名	内容種目	日程	開催場所	講師・役職名	参加
ワークセンター田鶴浜	中玉トマトの栽培研修 (研究所・栽培農家での研修)	10月12日(木) 10:00~12:00	日華バイオ研究所 専属農家	日華科学(株)職員	7
キッチンクラブおしみず	新作パン開発 (主に成型を中心に)	11月6日(月) 13:00~17:00	キッチンクラブおしみず	神戸フローランズ(株) 販売部 浅井 達己	4
けやき野苑	フラワーリースの作り方 (ハーブ主体)	11月20日(月) 13:00~15:30	けやき野苑	(財)MOA美術館財団 インストラクター 橋本 薫枝	7
若草福祉作業所	ジャムの製造について (無添加・長期保存方法・安全性etc)	12月7日(木) 13:30~16:00	若草福祉作業所	北陸学院短大教授 野坂 一江	4
あけぼの作業所	らっきょう・大根浅漬け (素材の色・調味料)	1月12日(金) 13:00~16:00	あけぼの作業所	上田漬物株式会社 社長 上田 寿一	8
松の実園	マーブルシフォンケーキの 作り方	1月18日(木) 13:00~16:00	(有)C&C金沢	(有)C&C金沢 専任講師 出口 春美	5
あけぼの作業所	スポンジケーキ・冷やすプリン・ パバロアの作り方	1月22日(月) 10:00~16:00	あけぼの作業所	ロンシャン 社長 加藤 一男	4
うちなだ福祉作業所	シュークリーム・ 紅茶シフォンケーキの作り方	1月31日(水) 10:00~15:00	うちなだ福祉作業所	金沢医療福祉製菓専門学校 新宅 竹雄	4
ひろびろ作業所	ウエスの現状と今後の展望	2月3日(土) 14:00~16:30	ひろびろ作業所	(株)シンコール開発部 マネージャー 真柄 幸男	8
松の実園	バナナのクリームパイとチョコイ ンゴナッツクッキーの作り方	2月19日(月) 13:00~16:00	有)C&C金沢	(有)C&C金沢 専任講師 出口 春美	6
けやき野苑	製品づくりへ向けての ハーブリースの研修	2月21日(水) 13:30~15:30	けやき野苑	(財)MOA美術館財団 インストラクター 橋本 薫枝	5
若草福祉作業所	手作りパイとおいしい紅茶の 入れ方飲み方	2月28日(水) 13:00~16:00	軽食喫茶紅梅	(株)ワールドコーヒー商会 芦原 幸子	4
幸徳園	おいしい餃子の作り方	3月5日(月) 13:30~16:30	幸徳園	大阪眠眠 店長 天保 康則	
やちぐさ作業所	乾パンの作り方	3月6日(火) 13:00~15:00	北陸製菓(株)	北陸製菓(株)	
やまびこ学園	ウエスづくりと製品の改良	3月9日(金) 16:00~17:30	やまびこ学園	石川県中小企業振興会 田辺 敏行	
セルフなんなん	ISOについて	3月17日(土) 15:00~17:00	セルフなんなん	(有)北陸セネティック研究所 端浦 吉章	

研修会を実施して

あけぼの作業所 桜松 一平

あけぼの作業所の自主生産品である漬物作業と焼菓子作業の商品開発・改良事業をそれぞれ1回実施しました。漬物では、本職の方を講師に招き漬物学を学び、各施設での分からない事を教えて頂きました。焼き菓子ではスポンジシートとプリンを実際に作りながら製造工程・要所要点を親切に教えてもらいました。

焼菓子班の利用者が研修で作ったケーキを見て「すごーい!美味しー!」と、とても嬉しそうに驚いているのを見て焼菓子担当職員がっかり!今まで作業で作っていたお菓子と比べ月とスポンであり、作業指導する立場でありながら技術が未熟でありすぎるからである。しかし作ったお菓子はケーキ屋さん並んでおり、つい買いたくなる魅力を持っているものと同じなので職員も「美味しー!」と誰よりも大声で叫んでいる。

この研修で学んだ事をしっかりと身に付け、自信を持って「美味しい」と叫べる商品を目指し精進していかなければならないと改めて心に誓う今日このごろである……。

商品開発改良研修会

～ハーブリース講習会～

けやき野苑 西田 孝美

商品開発・改良研修会で、11月20日に第1回のハーブリース講習会をしました。

講師、橋本薫枝氏にリースの講義をしてもらい、けやき野苑で栽培したラベンダー、タイム、レモングラスなどを使って、豪華なリースができあがりしました。でも、かなり細かい作業なので、本人達と作るには、時間がかなり難しいと感じました。

そこで、第2回目の研修会では、本人達も一緒に手軽にできるようなハーブを使った商品の作り方を、橋本講師にお願いしました。

今回のリースは、ハーブと花を束ねてワイヤーでとめてコサージュを作り、飾り付けていく方法で前回と比べるとスムーズにできあがりしました。ハーブと花を束ねることは、本人達もできるので一緒に参加できる商品作りができると思いました。

研修を重ねるごとに、いろいろな問題がでてきますが、ひとつひとつ解決して、魅力的な商品を開発していければ良いと思いました。

販売促進共同受注委員会

セルプあさがお 夷藤 和明

今年度より2ヶ年の『障害者施設商品開発等推進事業』が開始、当販売促進共同受注委員会では、従来の「セルフフェア」「セルフショップ」等の活動に加え、販促部門で『石川縦断セルフショップ』、共同受注部門で『セルフツアー』の実施と『商品リーフレット』の制作等を行った。

昨年度に比べ、フェア等の販売の機会が減ったこともあり、総収益の激減は否めないが、新たな販路の開拓・開催時の様々な企画の開発等、次につながる模索・検討の機会となり得たのではないかと考える。また、縦断ショップは他のイベントとのタイアップにより、一層の理解につながるものである。

セルフツアーは、若草福祉作業所とひろびろ作業所への施設訪問を実施。タイプの異なる2施設を見学し、好意的な反響があったものと推す。

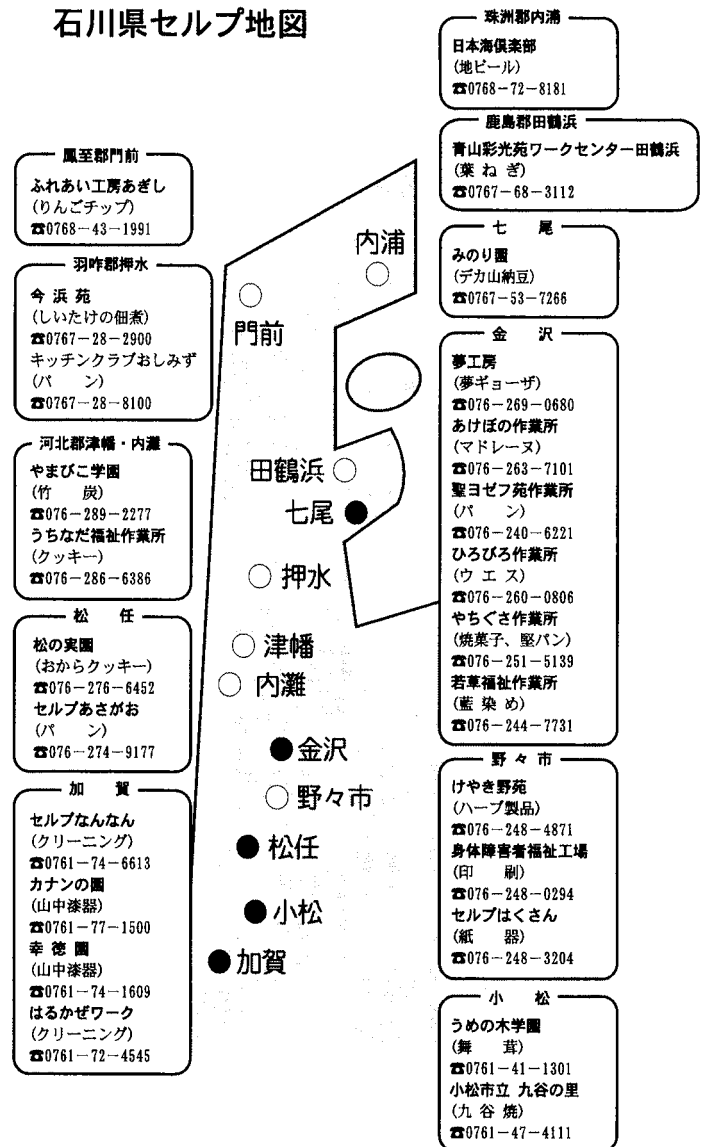
また、リーフレットは年度末期にようやく完成に至る。ラインナップを充実し、各機関・事業所等への営業活動をはじめ、石川セルプのPRを含めた全体的な底上げに一役買えるものと信じている。

セルフフェア・ショップ売上金額・手数料一覧

平成13年2月9日現在

開催名称	期間	参加施設数	合計金額
第8回いしかわゆうあいピック (松任市総合運動公園)	5/28	15	651,665
第36回日保協北信越5県保育連絡協議会 (加賀市ホテルアローレ)	6/28 29	2	55,200
第1回石川セルフフェア (アル・プラザ鹿島)	7/7 ~9	23	648,937
星が岡コンサート (星が岡牧場)	7/31	2	31,000
第14回牛乳パック再利用全国大会 (金沢市観光会館)	7/29 ~30	3	36,460
第2回セルフフェア(石川・福井合同) (松任アピタ)	8/25 ~27	24	817,241
「夢マーケット'00」ボランティアフェスタ (金沢市中央公園)	8/26	2	76,190
鳳珠郡社会福祉大会	8/29	2	55,550
第16回南陽園 (南陽園)	9/3	4	186,950
石川県障害者ふれあいフェスティバル (石川縦断ショップ)(産業展示館4号館)	9/10	18	516,078
第13回全国スポレク祭石川大会 (産業展示館3号館)	9/30 10/1	10	285,267
まれびとの国まつり(れ・クリエイトかが) (加賀中央公園)	10/9	2	85,250
全国老人福祉施設石川大会 (金沢市観光会館)	10/11 ~13	6	179,685
小松インポートフェア(石川縦断ショップ) (小松市中央通り商店街)	10/20 ~22	5	159,650
第49回社会福祉大会 (コスモアル羽咋)	10/23	5	125,900
少林寺拳法フェスタ'00 (産業展示館1号館)	10/29	4	273,525
小松国府まつり (小松市国分地区体育館)	10/29	1	36,850
第7回福祉ヘルスフェスティバル (寺井町民体育館)	11/3	2	88,900
七尾市障害フェスティバル (七尾サンライフプラザ)	11/12	3	112,000
バリアフリー社会推進県民大会 (地場産業センター新館)	11/14	3	47,550
第3回セルフフェア (小松空港 2階ロビー)	11/23 ~29	16	168,324
青山彩光苑祭 (青山彩光苑)	12/9	4	143,620
ラパーク販売(石川縦断ショップ) (長崎屋ラパーク金沢店)	1/27 ~28	7	124,535
合計			4,906,327

石川県セルプ地図



石川セルプ振興センター賛助会員新規加入者 平成13年2月9日現在

○団体

- 藤岡食料品店様 (株)アティコ様
- (株)アドレス様 信和産業(株)様
- (株)井波自動車商会様 (株)井上家具様
- 白江自動車整備(株) (有)石川商会様
- (株)北陸メディア様 (株)横山商会様
- (株)ネスク様 (株)三美様

○個人

- 宮鍋 敏彦様 宮本富美枝様 岡部 範昭様
- 田辺 紘一様 角出 芳朗様 宮崎 義光様
- 畑中 敏子様

ご加入ありがとうございます。引続き賛助会員を募集しています。詳しくは下記へお問い合わせ下さい。

石川県社会福祉協議会 076-224-1212

編集後記

授産活動活性化助成事業の一環で、この度石川セルプ振興センターのホームページを開設する事になりました。事業振興に是非ご活用下さい。